

政経マネジメント塾

女性リーダー育成セミナー

～リーダーへの自信と意欲を持つために～

2016年7月26日（火）

講師：(株)シー・シー・アイ
組織開発コンサルタント 外山麻衣

本日の目標と進め方

1 本日の目標

自分自身が「組織の中で生き生きと働き、影響力を与えている姿」を具体的に描く

2 内容

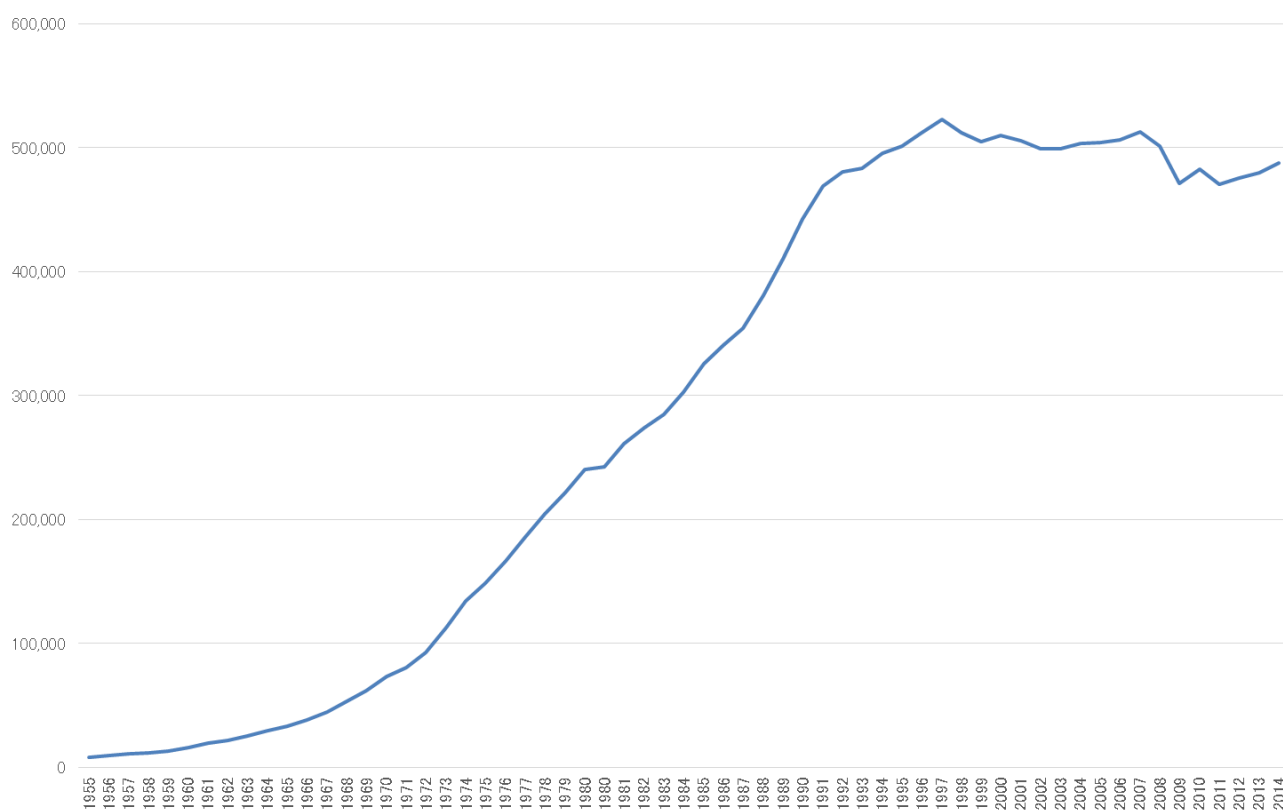
- 1 いまなぜ女性リーダーが必要なのか
- 2 実習：価値観の明確化～生き生きと働いている私とは？～
- 3 組織のなかでの影響力を考える
- 4 まとめ

3 本日の進め方

- 知識・スキルの「座学」ではなく、体験学習方式になります。
- 「安全な場」で思いっきり体験し、そこから学んでください。

いまなぜ女性リーダーが必要なのか

1 時代背景から見た女性リーダーの必要性



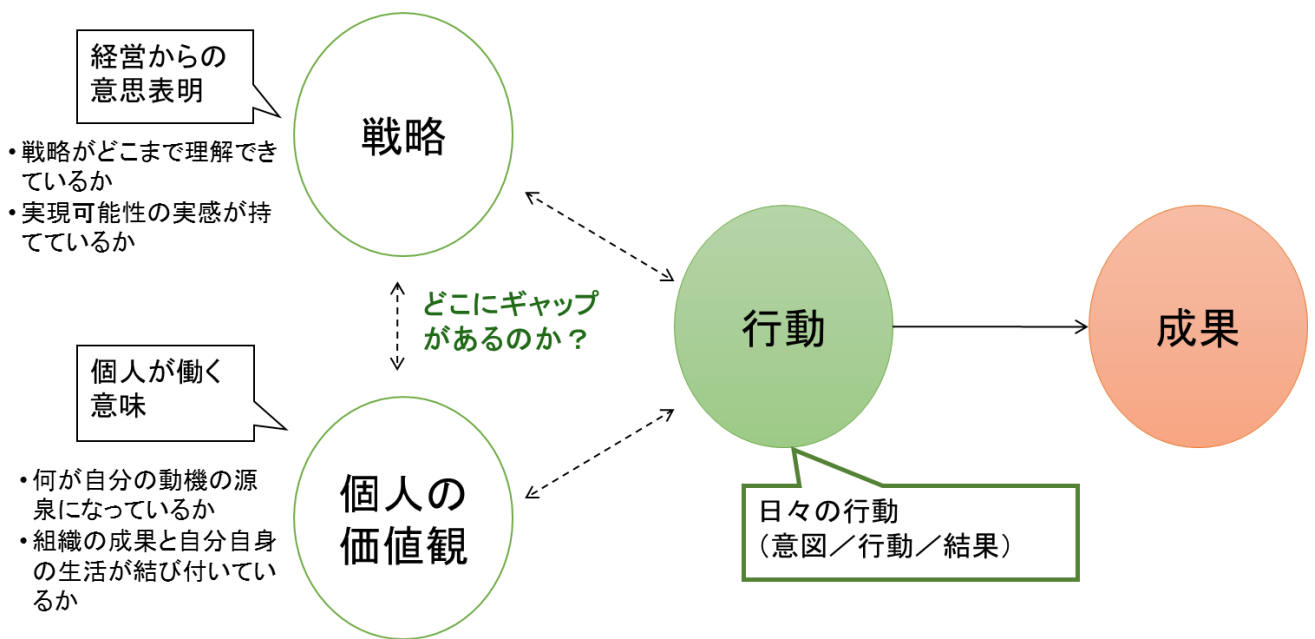
時代の流れから見えること

実習：価値観の明確化

～生き生きと働いている私とは？～

1 なぜ「価値観の明確化」を行うのか

- リーダーが組織の中で周囲を巻き込み生産的な影響力を発揮していくためには、「自分自身が大切にしたいこと」や「エネルギーの源泉」を自己理解し、それを伝える力を身につける必要があります。



2 実習「人生の棚卸し表」の作成

- 目的
 - 自分の人生を「人生の棚卸し表」という一本の線で表現し、現在の価値観を作った源泉を整理することで、「自分にとって生き生きと働いている姿とは？」「それを実現するために、何を大切にして、何を変化させていけばよいのか？」を明確にしていきます。
- 進め方の説明
 - 「人生の棚卸し表」に、自分の人生を一本の線で表現してみましょう。
 - 横軸は時間、縦軸は「何を軸と置くか」は自由です。

3 実習の振り返り

- 「人生の棚卸し表」を書いてみて感じたこと、気づいたこと

4 実習「サーキュレート・ダイアード」

- 目的
 - 「人生の棚卸し表」をもとに、同グループの参加者との対話を行うことで、更に自分の価値観を深掘りしていきます。また、他者に対し伝える力を身につけたり、仲間の行動や思考の源泉を聴くトレーニングにもなります。
- 進め方の説明
 - グループのメンバーと、二人一組で向き合って座ります。
 - 先ほど記入していただいた「人生の棚卸し表」を見ながら、講師が投げかける質問に対し、「話し手」「聴き手」に役割を分け、話し手の話を 2 分間聴いていきます。二人一組の話が終わったら、座席を移動し、新しいペアとの対話を始めます。
- ポイント
 - 聴き手は、じっくりと相手の話に耳を傾けましょう。この場は、相手の話を評価したり、アドバイスをするのではなく、「ただ、じっくりと相手の話を受け止める」ことに集中してみてください。
 - 話し手が質問内容に対して言葉に詰まってしまった時は、聴き手は「沈黙」につきあいましょう。

5 実習の振り返り

- 「人生の棚卸し表の作成」「サーキュレート・ダイアード」の実習を体験して感じたこと、気づいたことを、グループのメンバーと共有しましょう。

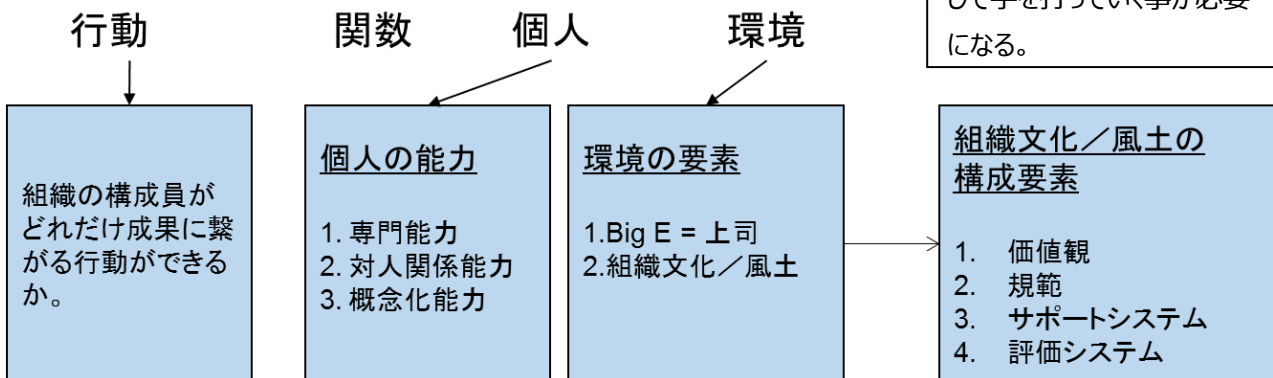
組織の中での影響力を考える

1 組織力を発揮するためにリーダーとして知っておきたいこと

- 組織開発の研究の第一人者であるクルト・レヴィンの公式

$$B = f(P, E)$$

・組織の構成員がどれだけ成果に繋がる行動ができるかは、「P：個人の能力」「E：職場の環境」に影響される。
・構成員が、継続して成果を産み出していくためには、「P」の強化だけではなく、「E」に対して手を打っていく必要がある。



2 女性リーダーがプラスの影響力を与えるには

- リーダー（上司）として

- 組織文化／風土に対して

まとめ

講義内容の振り返り

- 1 いまなぜ女性リーダーが必要なのか
 - 1.1 時代背景から見た女性リーダーの必要性
- 2 実習：価値観の明確化～生き生きと働いている私とは？～
 - 2.1 なぜ「価値観の明確化」を行うのか
 - 2.2 実習「人生の棚卸し表」の作成
 - 2.3 実習の振り返り
 - 2.4 実習「サーキュレート・ダイアード」
 - 2.5 実習の振り返り
- 3 組織のなかでの影響力を考える
 - 3.1 組織力を発揮するためにリーダーとして知っておきたいこと
 - 3.2 女性リーダーがプラスの影響力を与えるには

職場に戻っての第一歩を考える

学びを自分の職場にどう生かすか

<グループ振り返りと発表>

1. 今日が一番の学びは何だったでしょうか

2. 職場に戻って学びをどのように実践につなげたいですか？

最後に

近年、「女性活躍推進」「ダイバーシティ」という言葉を耳にする機会が増えている一方で、AI（人工知能）や機械化により、私たち人間の仕事の多くがなくなってしまう…という声もあがっています。

そのような未来を考えたとき、これからの女性リーダーに求められるのは、「いかに組織に所属している人々の感情まで受け止め、能力を引き出し、組織としての力に融合させていくか」という、組織開発の観点だと感じております。

本セミナーを一つのきっかけとして、皆さまの組織に自信と意欲に溢れた女性リーダーが増え、組織力を発揮されていくことを、心よりお祈り申し上げます。